

**青少年交流綱引き大会 2月17日**



## 熱戦に次ぐ熱戦

綱引きを通じて小学生同士の交流を深めてもらおうと「青少年交流綱引き大会」が市体育館で行われ、90チームが参加しました。選手たちは訪れた観客やクラスメートからの「頑張れ」「負けるな」などの声援を受け、力の限り綱を引っ張っていました。決勝では公津ビクトリーが桜田アレッタを破り優勝。試合の中には、同じ学校同士の対決や実力の拮抗した対決などもあり、熱い試合展開に会場は大いに盛り上がっていました。



①声を出し力の限り引っ張る②応援にも熱が入る③仲間に全力の声援を④気合を入れて出陣

**スポーツ教室 2月16日**



## 順大生がコーチに

順天堂大学の運動部の学生が講師となって指導する「スポーツ教室」が市体育館で開かれました。今回は市内中学校の剣道部員58人が参加した剣道教室。すり足や素振りといった基礎のほか、目を閉じながら面・こてを打ち、体の動きを意識する練習などが行われました。参加者は竹刀の振り方や体の動かし方についてアドバイスを受けたり、練習方法の質問をしたりするなど、最後まで熱心に取り組んでいました。



竹刀の角度を意識して素振り

**下総サークル発表会 2月16日**



## 和やかな雰囲気の中で

下総公民館で活動するサークルが1年間の成果を披露する「下総サークル発表会」が下総公民館で開かれました。会場で行われたのは、歌やダンスなどの発表のほか、写真や押し花などの展示、将棋・マージャンの体験会。ホールでは各サークルが発表を終えた後、訪れた人たちと楽しそうに交流する姿が見られるなど、終始和やかな雰囲気に包まれていました。



歌声をホール中に響かせる





女オビシャ

2月18日



## お籠を守る役目の受け渡し

成田地区で「女オビシャ」が行われました。これは旧成田町7町の女人講が、7年に一度回ってくる御神体の「お籠」を守る役を次の当番町へ渡す儀式。毎年2月18日に行われ、今年は東町から本町への受け渡しとなりました。会場となった東町公民館ではお迎えする歌とお送りする歌などが交換され、次の当番町に対し料理や踊りの余興など心尽くしのもてなしがされました。そしてお籠が渡され、一年間の大役が引き継がれました。



①お籠を丁寧に引き渡す ②各町15人の女人講がそろい歌を交換 ③舞踊でおもてなし ④子安観音の旗を先頭に本町へ

関東高等学校ラグビーフットボール新人大会

2月16・17日



## 体と体のぶつかり合い

「関東高等学校ラグビーフットボール新人大会」の準決勝と決勝が、中台運動公園陸上競技場で行われました。各都県から勝ち上がってきた強豪校が集まったとあって、意地とプライドを懸けた熱戦が繰り広げられました。千葉県からは流通経済大学付属柏高校が決勝に進出しましたが、惜しくも準優勝。多くの観客で埋まったスタンドからは、激しいプレーのたびに歓声が沸き起こっていました。



ボールは絶対渡さない

社会を明るくする運動作文コンテスト

## 国の優秀賞に田代花梨さん

社会を明るくする運動作文コンテストで田代花梨さん(公津の杜小学校6年)の書いた作品が、国の中央推進委員会に推薦され、優秀賞である全国保護司連盟理事長賞を受賞しました。田代さんは川崎市で発生した少年事件を取り上げ問題提起。愛情をもって子どもを育てられる環境を築くことが、犯罪のない明るい社会につながるという考えを作文にしました。



表彰状を手にする田代さん